

花爛漫

校訓
鍛錬 英知 自律

宇城市立三角中学校
学校新聞
令和3年12月10日
編集代表
校長 永田 功臣



図書室掲示（12月）

豊かな感性と人権感覚を養う ～校長室より～

師走に入りました。「僧侶（師）が走り回るほど忙しい時期」というのが語源ですが、本校の教師も特に三年生の入試に向け、忙しい時期になりました。朝ランを再開し、二年生も元気に走っています。生徒とともにラストスパートをかけたいと思います。

さて、教室を覗いてみると人権学習が行われていました。文化祭では一人一人の個性の輝きと可能性、そしてハーモニーを見ることができましたが、人権学習でも一人一人を大切にしながら取り組まれています。

特に今回は題材に加えて、担任の学級での練りあいの工夫を見ることができました。



二年生では、「水平社宣言」について学んだことをまとめて、対面式でお互いに発表し、それに對して意見や感想を返していました。



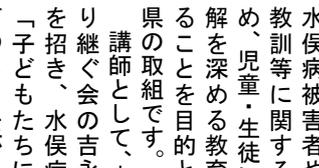
一年生では水俣病による偏見や差別について考え、それを学級につなげ、悲しい思いをする人がないようにするために、どうしたらよいか班で話し合い、提案が行われていました。

三年生は、「翼をください」というドラマを見た後、学校間格差や生き方について考え、自分はどういう生き方をしていくのかという進路公開のための原稿書きがタブレットで行われていました。

文化祭の「特技発表」で見られた一人一人の個性と表現のしかたを大切に、切磋琢磨して伸びる生徒の姿を目指して今後も学習活動を進めていきたいと思います。



職員も学ぶ 『水俣病啓発事業』

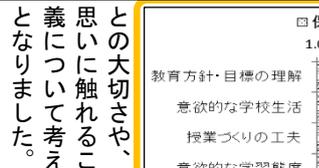


十一月十七日の校内研修で、水俣病について学びました。この啓発事業は、水俣病被害者や水俣病の教訓等に関する理解を深め、児童・生徒に対する理解を深める教育が定着することを目的とする熊本県の取組です。

講師として、水俣病を語り継ぐ会の吉永利夫さんを招き、水俣病の概要と「子どもたちに水俣病をどのように伝えるか」という問題提起をしていただきました。



グループで話し合ったことを発表



どの大切さや、人々の思いに触れることの意味について考える機会となりました。

『やればできる』から『やってよかった』へ ～令和3年度文化祭～

十一月十九日（金）に、文化祭を開催しました。コロナ禍の状況で、開催を一ヶ月延期していましたが、生徒たちはステラ合唱や展示、クラス合唱に精一杯取り組みました。観覧された学校運営協議会の方から、「まとまりがあり、生徒たちの仲のよさ



最優秀賞：3年1組
指揮者賞：河嶋哲平くん（3-1）
伴奏者賞：原口南美さん（3-1）

クラスのまとまり・ハーモニー 個性の輝きと可能性

を感じました。とてもよかったです。」という評価をいただきました。

テーマにもある「やればできる」が「やってよかった」になり、達成感を得るものになりました。これからも行事を通して、子どもたちの成長を促していきたいと思えます。



三角中の今 ～いろいろな取組を進めています～

校内ロードレース大会（12/3）

11月の保健体育の授業では、持久走に取り組みました。そのがんばった成果をロードレース大会で発揮してくれました。各学年の1位、目標タイムビタリ賞を紹介します。

【男子の部（3.1km）】
1年：前田公之介（12'13"）
2年：吉田僚真（11'04"）
3年：南 碧澄（11'15"）

【女子の部（2.2km）】
1年：山下七海（8'56"）
2年：坂井颯夏（9'50"）
3年：原口南美（10'08"）

【目標タイムビタリ賞】
3年：豊田梨江（12'50"）
2年：河嶋来夏（10'53"）

応援にも多数来ていただき、ありがとうございました。



8名の参加でした



給食試食会（12/3）



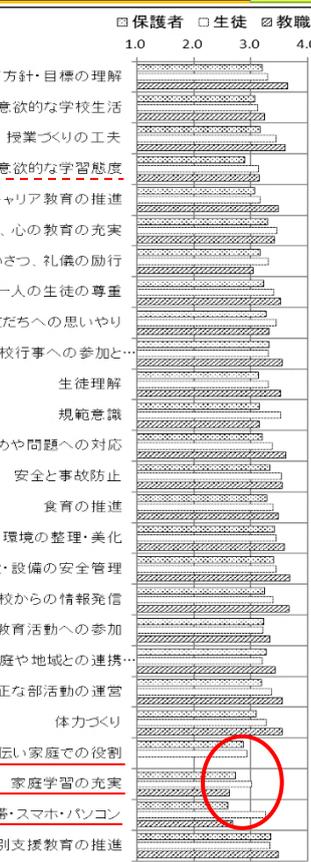
避難訓練（11/30）

理科室から出火の想定で訓練を実施しました。消火器操作も学びました。



懇談会で『親の学び』

参加体験型の学習スタイルで、子育てのコツを身近な話題から楽しく学ぶプログラムです。



手伝い、家庭学習、スマホ・パソコン等の使用に課題
遅くなりましたが、前期の教育評価アンケートの結果をお知らせします。三角中学校では毎年、左のグラフの二六項目について評価をしております。評価の目安としては、三以上は概ね良好、三以下は改善努力が必要と見ています。結果を見ると、三者とも

以前から続いている項目が、課題の三項目は保護者・生徒・学校・地域・行政で連携して、課題を解決していきましょう。